第107号

輪中の郷 おたっしゃ通信

社会福祉法人 弥富福祉会
特別養護老人ホーム　輪中の郷
指定居宅介護支援事業所　輪中の郷
デイサービスセンター　輪中の郷
弥富市デイサービスセンター
弥富市南デイサービスセンター
わじゅうの家 結い
〒498-0039
愛知県弥富市大藤町５番地３
ＴＥＬ〈0567〉65－5531
ＦＡＸ〈0567〉65－5536
E-mail info@yatomifukushikai.com
URL http://yatomifukushikai.com

今年度の取り組み

施設長　伊藤公一

◆始めに

日頃は、社会福祉法人「弥富福祉会」の事業運営にご理解・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

施設運営は、感染症の影響により、引き続き厳しい状況が続きますが、「個人・組織・地域」の視点を忘れず、より一層地域社会に貢献できるよう取り組んでまいります。

また、各事業の効率化を図りながら、常に長期的視野をもち、地域の皆様のニーズを考え展開し、信頼され、愛される施設となるよう努めてまいります。

理事会・評議員会で承認された今年度の主な取り組みは次のとおりです。

※重点取組施策

一、すべての利用者の生きがいに沿った自立支援を行います。

二、多様で複合的な福祉ニーズに対応し、地域共生社会の実現に取り組みます。

三、介護が「なりたい職業」の選択肢となるよう、魅力・やりがいを発信します。

◆法人本部

働き方改革の推進等、国の政策への対応を行うなか、事業の発展を支えるため、人材確保に引き続き注力し、職員が働きやすい環境の整備を継続していきます。

そして、生産力の維持、労働力の確保、技術の継承等、法人内外で働く高年齢者を戦力として活用していくため、法人内制度を含めた職場環境を整えていきます。

また、感染症や災害が発生した場合でも、利用者に必要なサービスが安定的かつ継続的に提供される体制を構築します。

専門職による総合事業の地域展開促進並びに地域の独居高齢者、子育て世帯及び経済的に困窮する者等を支援するため、無料又は低額な料金で福祉サービスを積極的に提供し、地域に貢献します。

◆特養ホーム

「寄り添って暮らそう」をモットーに、一人ひとりが願う自立を叶える個別サービスの提供に努めます。

介護ロボット機器及びＩＣＴ等の活用により、生活支援に直接かかわる職員それぞれが情報共有することで、入所者の状態把握と問題の早期解決に努めます。

ホームで安らかな終末を迎えていただく看取りケアについては、マニュアルを整備し、最期まで、経口摂取にこだわるなどの生命の尊厳に十分配慮しながら、その人らしい人生の最期をどのように迎えるか考え取り組みます。

◆通所介護（デイサービス）

「笑い合い・見つめ合い・楽しみ合い・助け合い、意義ある日々を共に」をモットーに、サービスの提供に努めます。

利用者が個々に抱えている悩みや不安の解消・軽減を図り、家族への働きかけや問題解決にあたるほか、必要がある場合には他のサービスと調整します。

さらに、早朝や時間延長など、様々な利用者ニーズを把握し、柔軟に対応します。

◆居宅介護支援

利用者の相談に対応すべく24時間連絡体制を継続し、困難事例等にも積極的に対応します。また、相談や依頼の一つ一つに誠意をもって対応し、事業所全体で支えられる体制を整備していきます。

◆共同生活援助（グループホーム）

利用者及びその家族の願いやニーズを基に事業を進め、「利用者・家族の笑顔、地域の皆さんの笑顔、職員の笑顔」を絶やさず育むことを大切にするグループホームづくりを目指します。

そして、地域共生社会とは何かを考え、検証と実践を重ね、利用者・家族・職員間で日常的に共に学び、育みあい信頼関係を深めていきます。

◆終わりに

当法人は、弥富市民の総意で設立された経緯を念頭に市民福祉ファーストを忘れず、地域の社会福祉法人としてお役にたてるよう努めてまいります。今年度は特に「法人理念×ＳＤＧｓ」をキーワードにして、法人職員一人一人が自己研鑽に励み、実践力アップをすすめます。

今後とも温かいご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

入所者紹介

輪中の郷の新しい家族になられた方々を紹介します。

服部久代さん

令和3年11月25日、いちょう・しらかばほーむの住人になられました。

食べることが大好きで、好きな食べ物はオムライスとナポリタンだそうです。今はなかなか外食に行けませんが、落ち着いたら好物を一緒に食べに行きましょう。

また、カラオケが好きでよく歌いに行っていたと、お話してくださいました。レクリエーションでカラオケを行う際は、是非歌いましょう。

これからの季節の変わり目には、体調を崩すことなく過ごせるようサポートさせて頂きます。

これからもよろしくお願い致します。

（大津拓真）

吉野博子さん

令和3年11月30日、けやきほーむの住人になられました。

初めの頃は少し緊張されているように感じましたが、段々笑顔が見られるようになりました。お話しをするとニコニコされ、とても笑顔が素敵な方です。

まだ、ほーむの生活に慣れていないこともあると思いますので、サポートしていきたいと思います。体調を崩さず元気にお過ごしください。

これからもよろしくお願い致します。

（安井政孝）

伊藤勇夫さん

令和3年12月4日、けやきほーむの住人になられました。

以前からショートステイを利用されていたので、緊張している様子もなく、周りの住人さんとも楽しそうに会話し過ごされています。職員の声かけにも和やかな笑顔がみられます。

桜の花見の際は、「綺麗に咲いとるなぁ」と桜を眺めて感動されていました。

これから暑い日も多くなってきます。体調を崩されることなく、元気にお過ごしください。

よろしくお願い致します。

（塩野智弘）

草嶋映子さん

令和3年12月12日、いちょう・しらかばほーむの住人になられました。

日中雑誌や本を読んで過ごされており、動物が載っているのをみて「かわいいね」と笑顔を見せてくださいます。

ほーむの生活にも少しずつ慣れた様子で、職員との会話も増えてきました。暖かくなってきたので、一緒に散歩へ行きましょうね。

これからも笑顔で楽しい日々が

過ごせるよう、サポートしていきますので、末永くよろしくお願い致します。

（伊藤佑里子）

近藤ゆり子さん

令和4年1月17日、けやきほーむの住人になられました。

ショートステイをご利用されていたこともあり、入所当初よりご自身のペースで生活し、身のまわりのことはほとんどご自分でされます。お話しをすると冗談を言って職員を笑わせてくれます。

また、甘い物が大好きで、ご家族が持ってこられるお饅頭をとても美味しそうに召し上がられ、それを見てこちらも笑顔になります。

季節の変わり目、体調には気をつけ穏やかに生活できるよう、お手伝いさせて頂きます。

これからもよろしくお願い致します。

（伊藤亜紀子）

坂口憲雄さん

令和4年2月28日、けやきほーむの住人になられました。

入所初日から笑顔をみせてくださり、職員の声かけにも笑顔でたくさんお話をして下さいます。

食事も「美味しい」と毎食しっかり完食されます。甘い物もお好きなようで、あんこが大好きと教えて頂きました。色んなあんこのおやつを提供させて頂きたいと思います。

暖かい日が多くなってきたので、外へ散歩に出かけられると良いですね。体調を崩さず笑顔いっぱいでお過ごし下さい。

末永くよろしくお願い致します。

（上野慶子）

佐藤敏子さん

令和4年3月7日、いちょう・しらかばほーむの住人になられました。

入所当初は緊張されている様子でしたが、最近ではほーむの生活にも少しずつ慣れたようで笑顔がたくさんみられるようになりました。

これから先もその笑顔を絶やさぬよう、寄り添いサポートしていきたいと思います。

段々と暖かくなり、暑い季節へと変わっていきますが、体調を崩すことなくお過ごしください。

末永くよろしくお願い致します。

（伊藤佑里子）

一色サカエさん

令和4年3月11日、いちょう・しらかばほーむの住人になられました。

昼時に離床され、皆がいるホールで食事も兼ね過ごされています。初めてみる職員には緊張されるのか、あまり表情を変えられませんが、ショートステイから利用されているため、顔なじみの職員には和らいだ表情をされ目で追ったりされます。環境も少し変わるため、不安なことも多いと思いますが、少しずつ慣れ安心して過ごして頂けるようサポートしていきます。

これから暖かい日が続き、夏に向かっていきますが、体調には気をつけてお過ごしください。

末永くよろしくお願い致します。

（中江奈穂美）

♥新入職員紹介♥

後藤安代

昨年12月より、わじゅうの家で勤務させていただいております。

前職では、就労移行支援事業所で、障がいのある方々の就職をサポートしておりました。

当法人に入職後は、持ち前の行動力と、これまでに培ってきた観察力と対応力を生かし、利用者様の変化や行動から心の声に気づき、より良い支援を目指しております。しかし、利用者様から学びや喜びをいただくことも多く感謝の日々を過ごしております。

私の目標は、利用者様だけでなく地域の障がいのある方やそのご家族様から「結い」が「安心して幸せに暮らせる場所」の代名詞となり、「あそこ（結い）で暮らしたい。暮らさせたい」と思っていただけるホームにすることです。

そのためには、知識や経験以上に多くの方々のお力が必要となってまいります。

皆様、これからもご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

（わじゅうの家結い　生活支援員）

横井友香

2月より非常勤、4月からは常勤職員として勤務しています。

昨年末まで急性期病院で勤めていましたが、諸事情により退職をしました。以前より在宅ケアや看取りケアに関心があったこともあり、当施設に再就職を決めました。

働き始めて2か月が経過しましたが、職場環境は良く働きやすく感じています。また、私が所属する共同生活課3階は、入所者及びショートステイ利用の方々がみえますが、お一人お一人の性格や価値観、そして生活背景に沿った対応をすることで、その方々の尊重につながることを知りました。まだまだ未経験なことが多いですが、皆様とコミュニケーションを多くとり、少しでも早く信頼関係を築き、その人らしく生活できるよう手助けしていきたいです。

そのためには、他職種との情報共有を大事に協働していきたいと思っています。

宜しくお願い致します。

（輪中の郷　看護師）

西村祐紀

3月末より弥富市デイサービスセンターで勤務させていただいています西村と申します。

介護はこれまでに特別養護老人ホームとデイサービスセンターで勤務してきました。これまでの経験を活かして、利用者様に安心・安全な介護を提供できるよう、頑張っていきたいと思います。

新しい職場環境で覚えることもたくさんあり、毎日が勉強の日々ですが、先輩方が優しく指導してくださるので、より一層努力していきます。

早く利用者様のことや業務を覚えて、弥富福祉会の一員として頑張りますので、よろしくお願い致します。

（弥富市デイサービスセンター　介護福祉士）

吉村乃彩

4月より介護福祉士として勤務させて頂いております。

私は中学の時から福祉の世界に興味があり、高校・専門学校と5年間福祉の勉強をしてきました。ただコロナ禍で実習に行くことができず、技術がない状態でのスタートとなり、不安な面しかありませんが、前向きな気持ちで頑張りますので、ご指導の程よろしくお願い致します。また、5年間学校で勉強してきた知識を少しでも活かしていけたら良いと思います。

仕事に慣れていくためにわからない事はそのままにせず、他の職員の方に聞き、努力していきます。そして一日一日を大切にして早く仕事に慣れ、職員の一人として認めてもらえるようになりたいです。

これから大変なこともあると思いますが、精一杯頑張りますのでよろしくお願い致します。

（輪中の郷　介護福祉士）

藤村優輝

4月より介護士として勤務させて頂いております。

自分は高校3年間福祉の勉強をしてきた中で、実習を通して利用者の方とのコミュニケーションをとる時の距離感、食事・入浴・排泄介助を見学し、難しいことではありますがやりがいのある仕事だと感じ、福祉の仕事に就きたいと思いました。

そこから当法人に採用が決まり、オリエンテーションや新入職員体験が始まりました。

新入職員体験では、実習で行ったことがないことばかりで大変でしたが、利用者の方とのコミュニケーションや仕事は楽しかったです。介護の現場は大変ではありますが、達成感とやりがいがあると感じました。

これから介護現場において大切にしていくことや介護実技を学び、頑張りますのでよろしくお願い致します。

（輪中の郷 介護士）

板敷ラリッサナオミ

4月より介護士として勤務させて頂いております。

高校の3年間では福祉科でいろいろなことを学びました。新型コロナウイルスのため施設へ実習に行くことができませんでしたが、高校で学んだことを活かし、利用者の方達が安心して生活できるよう頑張っていきたいです。

私の趣味はウォーキングで毎週水曜・金曜・土曜に愛犬と夜のウォーキングへ出かけています。今は短い距離しか歩きませんが、仕事に慣れたらもっと長い距離を歩きたいと思っています。

仕事をする上で一日も早く業務に慣れ、住人の皆様の名前を覚えて一緒に過ごす時間を大切にし、一人ひとりに寄り添い安心して毎日を過ごせるよう、精一杯お手伝いさせて頂きますので、よろしくお願い致します。

（輪中の郷 介護士）

お楽しみ会

3月16日（水）、2階いちょう・しらかばほーむの「お楽しみ会」を開きました。

コロナ禍で外出や慰問がない中、定期的に行っているレクリエーションです。

毎回、歌や踊り、出し物など楽しみにしてくださっている住人さんも多くみえ、職員もやりがいを感じています。

今回は去年入職の若手職員達が初々しく歌を披露しました。一緒に口ずさんでいらっしゃる住人さんもおられ、自身も端で見ていて和やかな気持ちになりました。中には、涙ぐむ方もみえました。

相談員や看護師も練習の成果を発揮し、出し物での突然の指名で戸惑いながらも頑張る姿に、住人さんの笑顔がこぼれていました。

今後も住人さんと職員の笑顔があふれる会を続けていきたいと思います。

（伊藤佳樹）

ホーム入所選考結果

3月21日（月）に、第61回入所選考を行い、要介護3以上の方について次表のとおり待機者名簿に登載し、早期入所希望者に入所順を通知しました。

	男	女	計
名古屋市	1	1	2
稲沢市	0	1	1
愛西市	0	4	4
弥富市	23	63	86
蟹江町	1	1	2
桑名市	0	2	2
木曽岬町	0	4	4
計	25	76	101

永年勤続職員表彰

令和４年１月１日現在で、20年及び10年以上勤務の次の職員に対し、社会福祉法人弥富福祉会永年勤続職員表彰規程に基づき、理事長から表彰状と記念品が贈呈され、これからも精進し法人事業の進展に寄与してもらいたいとの言葉がありました。

◆20年表彰

●特別養護老人ホーム輪中の郷
生活支援課長兼総務課長
伊藤　篤
（平成13年４月１日付採用）

●特別養護老人ホーム輪中の郷
共同生活課長補佐　立花美雪
（平成13年４月１日付採用）

●弥富市デイサービスセンター
主任専門員　平　欽生
（平成13年４月１日付採用）

●特別養護老人ホーム輪中の郷
生活支援課主任専門員
野村佳央
（平成13年６月１日付採用）

平　欽生　　松江睦子

伊藤明美

◆10年表彰

●特別養護老人ホーム
輪中の郷
共同生活課主任
鈴木芳樹
（平成24年１月１日付採用）

●特別養護老人ホーム
輪中の郷
共同生活課主任
奥村和久
（平成23年４月１日付採用）

●特別養護老人ホーム
輪中の郷
共同生活課介護福祉士
塩野智弘
（平成23年４月１日付採用）

●弥富市デイサービスセンター
主任　松江睦子
（平成23年11月１日付採用）

●デイサービスセンター輪中の郷
主任専門員　角田由美
（平成21年６月１日付非常勤採用、平成25年４月１日付常勤採用）

前列左から角田由美、立花美雪、伊藤　篤、野村佳央、工藤瑞穂
後列左から伊藤施設長、塩野智弘、奥村和久、鈴木芳樹、山田理事長

●弥富市南デイサービスセンター
介護福祉士　伊藤明美
（平成21年９月１日付非常勤採用、平成26年４月１日付常勤採用）

●特別養護老人ホーム輪中の郷
共同生活課看護師　工藤瑞穂
（平成23年７月５日付非常勤採用）

手作りおやつ

♡デイサービスセンター

２月　フルーツ入り抹茶ケーキ

カステラにフルーツと生クリームをサンドし、抹茶の粉末をかけて仕上げました。
刻み食の方には、もも風味のゼリーを提供しました。

３月　３色ようかん

抹茶・豆乳・桜色のようかんを３色重ね、生クリームと桜のゼリーを飾りました。
おやつを見た利用者の方が、「きれいだね」「美味しそう」と、喜んでくださり、みなさん完食されていました。四季折々にあったおやつを作り、季節を感じて頂けたら良いと思います。

ももゼリー　フルーツ入り抹茶ケーキ

三色ようかん

♡特別養護老人ホーム

３月25日、春らしいおやつを作りました

白あんのようかんの上に、桜漬けをイメージした、ほんのり塩味のする桜色のようかんを飾りました。

おやつの時間になり、住人さん・ショートステイ利用者さんへお持ちすると、嬉しそうにニコニコと笑顔になり喜ばれました。完食されている方ばかりで、とても嬉しく思いました。

これからも皆さんに手作りおやつを楽しんでいただけるよう、いろいろなおやつを提供していきたいと思います。

調理士　　山本佳居

わじゅうの家 結い

「花見ドライブ」

4月2日、マイクロバスで木曽岬の桜並木&弥富市内のドライブに行ってきました。

土曜日ということもあり、外泊や日中事業所へ行かれない5名の方が参加されました。

当日までに桜が散ってしまわないか心配でしたが、バッチリ見頃で桜のトンネルは見事でした。およそ一時間のドライブで改めて感じたのは、弥富は本当に桜が多く植わっており、春に毎年人々の目を楽しませてくれます。

入居者様からも「きれい」という声や「きれい」と言わなくても桜を前に好きな歌をついつい口ずさんでしまいます。

ドライブを楽しみにしていたのに、バスの揺れと隣に職員が座った安心感からか、出発してすぐに寝てしまった方もみえました。

花見ドライブではありましたが、入居者様それぞれの感性の中で、楽しんでいただけたのではないでしょうか。

結いに帰ってきてから、輪中の郷の南側で咲き誇っていた桜の下で写真撮影を行いました。

（伊藤丈治）

デイサービスセンター輪中の郷

「花見」

3月16・18日の両日、愛西市立石町にある藤丸稲荷大明神に咲く梅の花見に出かけました。片道20分以上かかる距離で、少し肌寒さを感じる気候でしたが、利用者の皆様は疲れもなく、きれいに咲いた梅の花を見て楽しんでおられました。

昨年の花見は、コロナ禍のためマイクロバスの中から見学する花見ドライブがほとんどでしたが、今回は満開に咲いた梅の花の下、笑顔で写真撮影することができました。

帰りのマイクロバスの中では、当日誕生日を迎えた利用者の方がみえたので、全員でハッピーバースデーを合唱しお祝いしながらの帰路となりました。

センターに戻り、マイクロバスの中に落ちている梅の花びらを見つけると、皆様の笑顔を思い出し、温かい気持ちになれました。

（伊藤　禎）

弥富市デイサービスセンター

「誕生日会」

春の暖かな陽気に、桜の開花も間近だと感じる季節となった3月24日。当センターご利用で最高齢の北原悦子さんの誕生日会が開催されました。御年103歳となられましたが、いつもハキハキとお話しされ大変お元気です。

この日も職員の「今日の主役は誰ですか？」の声かけに誰よりも早く挙手され、年齢を聞かれると「83歳!!」と少しとぼけてみたり、年齢が103歳になったことを伝えられると「えっ！」と誰よりも驚いた表情をされたりと、とても茶目っ気たっぷりの対応をしてくださいました。

皆さんからの質問にもハキハキと答えられ「若い時はアメリカのいろいろな所に行った。日本はとても良い所です」と、自らの経験をお話してくださいました。

お祝い膳の赤飯やお刺身にもご満悦の様子。悦子さんの素敵な人柄が表れた心温まる誕生日会となりました。（平 欽生）

弥富市南デイサービスセンター

「心も身体も生き生きと」

当センターでは、毎日行われるレクリエーションを通して、楽しく身体を動かしたり、利用者様同士でのコミュニケーションで繋がりを感じてもらえるように取り組んでいます。

紙コップやキャップ、お手玉、洗濯バサミなど色々な物を使って、テーブル毎にチームに分かれて合計得点を競います。

一位のチームはポイントが付く日もあるため、そんな日は皆様の気合いが違います。バランスが必要な組み立てタワーの時は、指先や頭を使って集中して行われ、中には立ち上がり崩れないよう慎重に組み立てる方もいます。同じチームの方は応援したりと力を合わせて最後まで取り組まれます。

今後も、身体機能の向上やコミュニケーションの促進に努め、笑顔で楽しく参加していただけるよう、色々なレクリエーションを提供していけるよう工夫していきます。

（滝川梨詠）

台所の薬草

「桜」

今年の桜のシーズンは終わってしまいましたが、今のご時世に応じた方法で美しい桜と、気持ちのいい春の風を感じて楽しまれた方も多いと思います。桜は見るだけでなく、食用として塩漬けなどにして春を感じる食をも楽しませてくれます。

桜茶などに使用される花びらの塩漬けは「関山（カンザン）」や「普賢象（フゲンゾウ）」といった八重桜が使われるそうです。

桜餅などに使われる桜の葉の塩漬けには大島桜が使われます。大島桜の葉は柔らかくて食べやすい上に、あの独特の良い香りは大島桜でないと出せないとか。その独特の良い香りは塩漬けすることで生まれるポリフェノールの一種です。大量に食べ過ぎると肝臓に負担をかける恐れがあるので注意が必要ですが、アロマのようなリラックス効果があります。

桜の花の季節は終わってしまいましたが、塩漬けの花や葉を料理に取り入れて食卓でも春の香りを楽しんではいかがでしょうか。

（星野芳江）

亡くなられた方々

・堀田日出子さん　七十八歳
令和三年十二月七日

・黒宮清治さん　八十九歳
令和四年一月十日

・大田ハル子さん　八十五歳
令和四年二月二十二日

・野村すみさん　八十四歳
令和四年二月二十五日

・上山光子さん　八十四歳
令和四年三月一日

・的場隆子さん　九十一歳
令和四年三月十三日

・小林キヌヨさん　八十二歳
令和四年三月二十二日

・増野英子さん　八十五歳
令和四年三月二十八日

皆さんのご冥福をお祈りいたします。

お知らせ

輪中の郷エレベーター棟新築工事中には、住人さん・ご家族・ご利用の皆様には大変ご迷惑をおかけ致しましたが、無事3月末に完成しました。

ご寄付ありがとうございました

12月1日～3月31日

・株式会社 アイコー様
・弥富市南地区民児協様
・木下たづ様
・奈良明美様
・中部善意銀行様

編集後記

寒かった日々が、いつの間にか木々の緑が鮮やかになり日一日と過ごしやすい季節となりました。

4月も初旬を過ぎようとする頃から、園芸店やホームセンターなどでは、母の日用のお花が次々に並びはじめます。一年で一番お花が並ぶ時期です。

昔は母の日といえばカーネーションが定番でしたが、最近はあじさいやミニバラ、ランなど多種多様です。

アンナ・ジャービスというアメリカの少女が母の死をきっかけに「生きている間にお母さんに感謝の気持ちを伝える機会を設けるべきだ」と、働きかけたのが始まりとされています。一人の少女の行動が多くの人々に広がるなんてすごいですね。

お母さんがいることが当たり前の日常になってしまっていますが、今年の母の日は感謝の気持ちもお花に添えてみようかなと思っています。

母親への感謝の気持ちを忘れずにいたいですね。

（古城さおり）